

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 守山商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考	
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価						
				指標	実績数値	指標	実績数値	総合評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標			
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者を中心に、職員が事業所へ訪問及び相談窓口の設置により、融資等の金融相談や税務・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数1590社 (うち非会員183社) ・巡回窓口指導延件数2897件 (うち非会員260件) ・課題解決提案数60件 ・経営革新承認件数4件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 107.3%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	経営支援を行うにあたり、経営指導員が事業者の状況を把握し、課題を把握し、その解決方法の提案を行うことを習慣づけることで、これまで以上に会員の満足度を向上せしめ、伴走型支援につなげた。		総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標	経営指導員を中心に職員が一体となって計画的な巡回相談指導を展開する。また、課題解決提案について、その質の向上を図り、更なる会員満足度の向上に努める。
				目標数値	2700	実績数値	2897	目標数値	60			実績数値	60	調査結果	必要性	A
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自動化・計数管理による経営力の向上に結びつける。	・記帳機械化、記帳継続指導指導対象者数 128人 指導延日数 645日 指導延回数 1602回	小規模事業者	指標	指導対象者数 (達成度 98.5%)	指標	(達成度 %)	記帳継続指導を行う事で自動化事業所の増加、記帳機械化・継続指導により事業主の事務負担の軽減を図り、明確な決算により自社の財政状態を把握するよう指導できた。		総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標	事業者が自社の財政状態の把握とその対策について迅速にかつ適切に対応できるよう日々の税務指導を行う。
				目標数値	130	実績数値	128	目標数値				実績数値		調査結果	必要性	A
講習会等事業	高齢化・多様化する経営環境に対応するため、金融、経営、税務、経理、労働、情報化、法律等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と経営力の強化に資することを目的とする。	・個別指導会 161人 金融相談 62回 確定申告指導 8回 47人 記帳継続指導 24回 109人 労務相談 1回 1人 法律相談 12回 18人 集団指導会 1回 11人 経営革新セミナー 1回 8人	小規模事業者	指標	参加延人数 (達成度 94.7%)	指標	(達成度 %)	参加事業者の具体的な悩み、問題、課題に対して専門家等を活用することで解決、解消につなげることができた。		総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標	アンケート結果を基に、会員ニーズにマッチした内容の講習会を企画して行く。スキル・ノウハウの提供のみにとどまらず、タイムリーかつ有意義な国や県の施策等の情報提供にも重点を置く。
				目標数値	375	実績数値	355	目標数値				実績数値		調査結果	必要性	A
地域振興祭事業	各種のお祭り、祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域の産業PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図る。	・夏まつり 中部小樽 8/2 来場者2000人 志保味 8/26 来場者9500人 ・冬まつり 守西金屋平牧 12/2 来場者3000人 大森 12/3 来場者700人 中心 12/10 来場者200人 守山 12/10 来場者500人 四軒家イルミネーション 12/2~1/14 ・商工会あいち物産展航空祭出店 3/3	各農会等 発案者 (地域密着型 小売店等)	指標	開催回数 (達成度 114.3%)	指標	(達成度 %)	地元において祭を開催することにより、地域住民とコミュニケーションを図るとともに、地元商店街や事業所のPRが図れた。		総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標	協賛金の減少や職員の多忙化により事業内容を見直す必要がある。
				目標数値	7	実績数値	8	目標数値				実績数値		調査結果	必要性	A
地域振興事業	これからの地域経済の振興について地域懇談会を開催し、地域の実態把握を行い、地域経済振興に向けた対応を検討するなど、地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域振興とともに地域商工業の発展に寄与する。	・組織強化委員会 8/28 24人 ・組織強化月間(9月~11月) ・強化月間会員獲得数 89社 ・年間会員獲得数 157社 ・中学校区支部役員会 14回 110人	小規模事業者の地域代表	指標	会員獲得数 (達成度 78.5%)	指標	(達成度 %)	会員の増強と地域との連携強化が図れた。		総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標	理事会において個人別実績報告を行い意識向上を図っているが、個人によって温度差があるため、更なる意識向上に努めたい。
				目標数値	200	実績数値	157	目標数値				実績数値		調査結果	必要性	A
商店街・街づくり事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元事業者の活性化を通して地域振興、街づくりに寄与する。	・なご商業フェスタ 4/1~4/17 107社 ・元氣まつりセール 11/1~1/31 78社 ・街路灯管理 496基 商店街こども110番、びよカード、あきない塾 ・各支部・発展会活動のサポート	小規模事業者	指標	参加延企業数 (達成度 123.3%)	指標	(達成度 %)	売り出し等により直接的に集客力を向上させたり、街路灯事業やこども110番等、地域に密着した街づくりを行い、大型店との差別化を図るとともに、開業しやすい環境をつくり、間接的にも集客力が向上した。		総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標	商品券事業市内全域で行うことが決定しているため、大型店だけでなく中小・小売店への売上に貢献できるよう工夫する。
				目標数値	150	実績数値	185	目標数値				実績数値		調査結果	必要性	A
産業活性化事業	SNS等を活用し、会員企業のPRや地域情報等の発信を行い、企業の発展及び地域の活性化に資することを目的とする。	・工業部役員研修会 7社 ・商工会展示室を使用した製品PR事業 5社	商工会員	指標	参加延企業数 (達成度 21.8%)	指標	(達成度 %)	地域創生策としてSNSやマスコミで取り上げられることが多い「古民家再生」の事例を踏まえた役員研修会を開催し、当地域における新ビジネス発掘の気づきを与えた。		総合評価	B	自己評価	満足度	補足	目標	当会新ホームページの公開時期が遅れたため、今年当初予定していたSNSを活用した地域情報等の発信を進めることができなかった。
				目標数値	55	実績数値	12	目標数値				実績数値		調査結果	必要性	A
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員事業者等に有益な経営情報を普及させ、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための情報交流を促進し、商工業の活性化に寄与する。	・商工会100万会員ネットワーク(全国連ホームページ)への登録73社 ・商工会ホームページ 12回更新	商工会員	指標	ホームページ更新回数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	商工会ホームページのリニューアルにより、経営支援はじめ商工会活動のPRを図り会員増強に努めるとともに、国や県の中小企業施策の普及を促進した。商工会100万会員ネットワークに登録することにより、全国へ自社業務内容の発信を行い、ビジネスチャンスの創出を行った。		総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標	商工会会員増強並びに国や県の中小企業施策の普及を効果的に推進できるようなホームページを充実させていく。
				目標数値	12	実績数値	12	目標数値				実績数値		調査結果	必要性	A
異業種交流事業	異業種交流会や商談会、ビジネスマッチング等の開催や地域団体主催の交流事業に参加することで企業のPRや販路開拓、経営強化のための意見交換を行い、更なる企業の発展を促す。	・「メッセナゴヤ2017」出展 11/8~11/11 2社 ・新春賀詞交換会 1/28 109社	商工会員	指標	参加延企業数 (達成度 105.7%)	指標	(達成度 %)	メッセナゴヤへの出展により、企業のPRや販路拡大を図り、会員満足度を上げることができた。また、新春賀詞交換会の開催により異業種の交流によるネットワーク構築を図ることができた。		総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標	新春賀詞交換会における企業マッチング展開をさらに強化したい。
				目標数値	105	実績数値	111	目標数値				実績数値		調査結果	必要性	A

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業者経営支援事業費補助金関係)

団体名: 守山商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考															
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価																				
				指標	目標数値	実績数値	達成率	指標	目標数値	実績数値	達成率	総合評価	事業実施評価			自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	現状維持	実施方法	現行どおり							
調査・広報事業	中小企業・小規模事業者関連の施策に反映させるために、その経営実態や意向等を把握する調査事業を行う。また、中小企業施策の利用促進を図るため、各種制度の情報を周知するための広報活動を行う。	・広報誌「商もりやま」発行 4月・7月・9月・11月・1月 5回 平均2734部 ・広報委員会 5回 ・守山ビジネスサポーター事業への登録数 51人	商工会員	指標	2600	2734	105.2%	指標					総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	A	補足		目標	現状維持	実施方法	現行どおり	広報誌「商もりやま」並びに商工会ホームページの内容の充実を図り、国や県の各種中小企業施策の普及に努める。	
雇用促進事業	就業者の確保・育成・定着促進を図るため、意欲と能力のある担い手育成対策を推進する。	・永年勤続優良従業員表彰 5/25 13社 19人	就業者を持つ小規模事業者等	指標	20	19	95.0%	指標					総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	A	補足		目標	現状維持	実施方法	廃止する	参加企業に偏りがあるため、H29年度は実施したが、今後5年に1度の実施とする。(次回H33年度)	
青年部・女性部事業	若手後継者等の資質向上及び交流を促進することで、地域経済の発展に寄与し、また、部員連携による社会福祉の増進活動を通して、地域社会の総合的発達に資する。	・青年部 婚活事業9人、地域イベント参加11人、親睦事業5人、交流会17人、子ども商店部員連携による社会福祉の増進活動を通して、地域社会の総合的発達に資する。 ・女性部 地域イベント出店14人、交流会、情報交換会37人、支部・県連事業の参加42人 ・若手後継者等育成事業の運営	若手経営者及び後継者等(青年部)事業に携わる女性(女性部)	指標	100	131	131.0%	指標	100	93	93.0%			総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	A	補足		目標	両方現状維持	実施方法	両方現行どおり	部員のニーズに、よりマッチし、経営力向上と地域の福祉の増進に資する事業内容として充実させていくことで青年部・女性部事業の魅力を増し、部員増強を図り、事業活動を活性化して行く。
部会・委員会事業	商業・工業などの各部会や委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展を図る。	・商業部会 6回 77人 ・工業部会 1回 7人 ・金融審査委員会 23回 87人	小規模事業者の地区代表	指標	185	171	92.4%	指標					総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	B	調査結果	B	満足度	A	補足		目標	下げる	実施方法	現行どおり	参加者が減少傾向にあるため、地域活性化だけでなく、参加者の店舗等にも有益な情報提供を行う。	
福利厚生事業	会員相互の親睦を築き、ビジネスチャンスの促進や地域活性化への意見交換を図る。また、小規模事業者及び従業員等の健康増進を図るため、各種健康増進事業を実施する。経営上のリスク軽減や雇用の持続的安定を図るため、各種共済制度の普及を推進する。	・ゴルフコンペ 10/16 142人 ・ボウリング大会 2/2 36人 ・健康診断 10/5 10/6 315人 ・各種共済の推進	小規模事業者及びその従業員(家族従業員含む)	指標	500	493	98.6%	指標					総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	A	補足		目標	下げる	実施方法	現行どおり	参加者の満足度を高めるため、アンケートなどに基づいて事業の運営方法等を見直す。また、積極的な周知により参加者の増加を図る。なお、参加者が減少しているボウリング大会は今年度をもって終了する。	
労働保険事業	事業主に代わって労働保険料の申告納付、労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	・労働保険加入 199社 ・一人親方労災保険加入 47人 ・未加入事業所への労働保険の加入促進	小規模事業者	指標	230	246	107.0%	指標					総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	A	補足		目標	上げる	実施方法	変更する	事務処理の正確さに努めるとともに事業所の増加を図る。	
税務関係団体指導事業	税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、行政や地域社会への貢献・発展の一助となる。ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	・青色部員 144人 ・青色部会・総会 5回 ・記帳簿記指導会 10/16 21人、10/17 12人 ・年末調整出張会(志段味・大森) 1/5 7人 ・日帰り視察旅行 11/19 39人 ・税理士会との連携による相談会	個人事業主等	指標	160	144	90.0%	指標					総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	B	調査結果	B	満足度	A	補足		目標	下げる	実施方法	現行どおり	青色部への加入メリットの充実を図り、部員の増強・維持に努めたい。	
産業団体等指導事業	各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、行政や地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化を図る。	・名古屋商工連合への参加 総会8/2 陳情1/18 交流会 3/16	小規模事業者の代表	指標	2	3	150.0%	指標					総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	A	補足		目標	現状維持	実施方法	現行どおり	行政との意見交換を活発化し、より一体となった事業に取り組む。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。